

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道269号 梅谷バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 宮崎県
起終点 自：宮崎県宮崎郡田野町七野 至：宮崎県宮崎郡田野町梅谷	延長 4.4 km	
事業概要 一般国道269号は、鹿児島県指宿市から本県の都城市、田野町などを経由して宮崎市に至る延長約170kmの一般国道で、県境を越えて地域の産業・経済を支える重要な幹線道路である。 梅谷バイパスは、田野町中心部の交通混雑を解消するとともに、土地区画整理事業と一体となった街づくりを図るなど、地域の活性化に大きく寄与する延長4.4kmの2車線道路である。		
S63年度事業化	H-年度都市計画決定	S63年度用地着手
全体事業費 約78億円	事業進捗率 87%	供用済延長 2.2km
計画交通量 10,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 30/100億円 (事業費：28/96億円) (維持管理費：2/4億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 132/173億円 (走行時間短縮便益：118/152億円) (走行費用減少便益：13/19億円) (交通事故減少便益：2/2億円)		基準年 平成15年
事業の効果等 ・都市の再生（沿道の土地区画整理事業との連携あり） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市である宮崎市へのアクセス向上が見込まれる） 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、宮崎市をはじめとする関係1市6町の首長で構成される宮崎東諸県広域市町村圏協議会より早期完成の要望（平成15年7月22日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ひむか歴史ロマン街道形成構想（平成13年3月）により「ひむか神話街道」に位置付けられた。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において字図の混乱による用地境界確定に時間を要したが、現在までに2.2kmを部分供用しており、渋滞緩和などの効果を上げている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収もほぼ完了しており、平成18年度の全線供用に向けて着実に事業は進展する。		
施設の構造や工法の変更等 再生資材の活用や盛土構造により発生土を有効利用するなどコスト削減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。